

ニューカレドニアへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2025 年 11 月 18 日

ニューカレドニア全域	〔レベル1〕 「十分注意してください。」 ・グランテール(Grand Terre)島の北部、東側沿岸部、同島内陸部とリフー島を除くその他の島嶼（引き下げ） ・グランテール島の西側沿岸部の一部（ヌメアからコネまでの沿岸部）及びリフー島（継続）
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【ポイント】

●2024 年 5 月 13 日、独立派による抗議活動が激化し、その後の期間を含めて、道路の封鎖、略奪、建物・車両等への放火等が発生しました。同日から 1 年半が経過し、治安情勢は相当程度回復しています。一方、依然として独立派と反独立派の対立等を背景とした一定の緊張が続いており、道路封鎖、投石、発砲等により、主要道路の通行が困難となる等の事案が予期せず発生する可能性がありますので、十分注意してください。

●治安状況の一定の改善が認められるので、ニューカレドニア全域の危険情報をレベル1（十分注意してください）に引き下げます。（既にレベル1であった地域は継続）。

【概況】

- (1) フランスからの独立派と反独立派が対立するニューカレドニアでは、2021 年に行われた 3 回目の住民投票で独立が否決された後も、独立派が抵抗を継続しています。
- (2) 2024 年 1 月、仏政府は、ニューカレドニアの住民投票の選挙人を 10 年以上ニューカレドニアに居住している全ての住民に拡大することを規定する選挙制度改正に関する憲法改正法案を国会に提出し、同年 5 月 15 日（仏時間）、国民議会本会議で可決されました。有権者に占める独立派の割合が減ることを危惧する独立派はこれに強く反発しました。
- (3) 5 月 13 日以降、ニューカレドニアの中心都市ヌメアとその周辺で独立派による抗議活動が激化しました。道路の封鎖、商店・車両等への放火、略奪、襲撃等があり、銃撃戦や憲兵隊員 2 名を含む 14 名の死亡事案が発生しました。この影響により、公共交通機関の停止、学校の休校、空港の閉鎖、夜間外出禁止令等の措置がとられました。商店、交通インフラ等の機能の停止により、食料・燃料等の調達、医療機関への移動等が困難となり、社会生活にも影響が生じました。5 月 15 日（仏時間）、仏政府は、治安当局の権限を強化する内容の非常事態宣言を発出しました（5 月 28 日夜に解除）。
- (4) 2025 年 7 月 12 日にパリ郊外のブジヴァル市で仏政府、独立派及び反独立派による政治的合意（ブジヴァル合意）がなされ、今後、憲法改正手続を経て、2026 年 6 月頃に地方選挙が実施される予定です。しかしながら、一部独立派が、ブジヴァル合意からの離脱を表明するなどしていることから、今後の政治状況を注視する必要があります。
- (5) 激しい抗議活動が始まってから 1 年半が経過し、治安情勢は相当程度回復しています。一方、依然として独立派と反独立派の対立等を背景とした一定の緊張が続いており、道路封鎖、投石、発砲等により、主要道路の通行が困難となる等の事案が予期せず発生する可能性があります。

テロ・誘拐はどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないように、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

詳細は、ニューカレドニアのテロ・誘拐情勢も併せてご確認ください。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_299.html

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ： <http://www.anzen.mofa.go.jp>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903

外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306

外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047

までお問い合わせください。